

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況及び効果検証について

● 制度の目的

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の基本施策である、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう設立されました。

● 交付対象事業

緊急経済対策に対応した、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業の実施に要する費用の全部又は一部を負担する事業とされており、用地取得費など一部対象外経費がありますが、町独自の幅広い対応が可能となっています。

● 下仁田町の交付（限度）額

（単位：千円）

交付金区分	令和3年度 交付限度額 (本省繰越分)	令和4年度 交付限度額	令和4年度 予算計上分	
令和3年度第2次交付限度額（感染症対応分）	17,047		17,047	
〃（地域経済対応分）	93,717		93,717	
令和4年度第1次交付限度額（令和3年度補正予算分）	16,118		16,118	
〃（令和4年度予備費分）		48,352	48,352	
〃（国庫補助事業に係る算定分）		900	900	
令和4年度第2次交付限度額（重点交付金分）		39,490	39,490	
〃（国庫補助事業に係る算定分）		1,097	1,097	
計	126,882	89,839	216,721	0

● 令和4年度予算に係る新型コロナウイルス感染症対策関連経費執行状況

（単位：千円）

概 要	事業費	財源		
		交付金 充当額	国県等 特定財源	一般財源
●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	237,427	214,318	4,563	18,277
●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業以外（参考）	0		0	0
総 計	237,427	214,318	4,563	18,277

● 実施状況及び効果検証

(単位：千円)

No	事業名	事業概要	事業期間	事業費	財源			コロナ交付金検証	
					交付金 充当額	国県等 特定財源	一般財源	実施状況	効果検証
1	庁舎等感染防止対策事業	新型コロナウイルス感染症対策として各庁舎内における防護対策を行うとともに職員内からの感染者を出さないための対策を講じ、以って感染拡大を未然に防ぐ。	R4.4.1 ～ R5.2.3	663	650	0	8	(購入) ・空気清浄機 2台(役場庁舎1F 窓口付近に設置) ・アルコール入り除菌シート100枚入り 148個(窓口の除菌に使用)	窓口付近の除菌を行うことにより、来訪者及び職員の感染を予防することができた。
2	集会所等感染防止対策事業	人が密集しがちな集会所における新型コロナウイルス感染症対策として、マスク及び消毒液を配布し感染防止に努める。	R4.4.1 ～ R4.8.29	440	430	0	633	(購入) ・アルコール除菌スプレー350ml 144本 ・手指消毒液 1ℓ 144本 ・不織布マスク50枚入り 144個	行政区集会所等に配布することにより、集会所等で住民が集まる際に感染を予防することができた。
3	公共交通対策支援	新型コロナウイルス感染症の影響により、下仁田町在来線の上行電鉄を利用する町民及び観光客が減少していることから、公共交通事業者への支援として、運賃等を町が負担し、利用機会を創出することで、上行電鉄の利用を促進する。また、波及効果として経済の活性化を図る。	R4.5.1 ～ R5.3.30	3,025	2,900	0	0	町内での500円以上の買物などのレシートを下仁田駅で提示すると、下仁田駅から降車駅までの運賃が無料になる特別片道乗車証を交付するキャンペーンを実施した。 申請件数：3,413件 利用者数：3,227人 交付額：2,581,600円 (消耗品費：86,081円) (通信運搬費：35,758円) (広告料：321,200円)	下仁田駅の発券数は前年同期間の128%となっており、利用者アンケートでは本事業に対し10割が「上行電鉄を利用するきっかけになった」、9割以上が「下仁田町に来るきっかけになった」「下仁田町の飲食店・小売店を利用するきっかけになった」と回答しているため、公共交通の利用増には効果が見られた。 また、商店向けアンケートでも5割以上が「町内の商店に波及効果があった」と回答しており、町内経済の活性化にも効果が見られた。
4	下仁田小中学校感染症防止対策施設整備事業	新型コロナウイルス感染症対策としてフタのある洋式トイレに改修し、飛散を防ぐこと及び水道の自動水栓化により、接触を減らし児童生徒の感染症リスクを軽減できる。	R4.4.1 ～ R5.3.27	12,320	12,300	0	155	トイレ改修 ・小学校10基 ・中学校12基 自動水栓 ・小学校47基 ・中学校 3基	洋式トイレへの改修及び水道の自動水栓化により、児童生徒の感染症リスクを軽減することができた。
5	公立学校情報機器整備費補助金	コロナ感染症による休校時のオンライン・遠隔授業のための環境整備としてアクセスポイントを増設。	R4.4.1 ～ R4.11.14	1,328	1,150	135	50	アクセスポイント増設 ・小学校 3基 ・中学校 3基	アクセスポイント増設により、児童生徒の遠隔・オンライン学習を行いやすい環境を整備することができた。
6	社会体育施設感染予防対策事業	新型コロナウイルス感染症対策として各社会体育施設の和式トイレをフタのある洋式トイレに改修することで飛散を防ぐ。また、手洗い場に自動水栓を設置することで、水栓に触れることなく手洗いができ利用者の感染リスクを低減させる。	R4.4.1 ～ R5.3.9	6,558	6,500	0	19	社会体育施設自動水栓化 595千円 ・サンスポーツランド 3基 ・馬山多目的グラウンド 1基 ・本宿社会体育館 4基 ・馬山社会体育館 5基 ・青倉社会体育館 2基 ・下仁田小学校屋外トイレ 1基 社会体育施設トイレ改修工事 5,962千円 ・サンスポーツランド 6基 ・馬山多目的グラウンド 4基 ・本宿社会体育館 3基 ・下仁田小学校屋外トイレ 3基	和式トイレの洋式化や手洗い場への自動水栓設置により、利用者の感染リスクを低減することで、安心して利用してもらうことができた。

(単位：千円)

No	事業名	事業概要	事業期間	事業費	財源			コロナ交付金検証	
					交付金 充当額	国県等 特定財源	一般財源	実施状況	効果検証
7	サニタリーサポート 事業	新型コロナウイルス感染拡大に伴う長期的な不況による経済的困窮等の理由で生理用品の購入が困難な方に支援を行う事業	R4.4.1 ～ R5.2.13	108	100	0	110	役場と保健センターと学校・病院を通じて250セットの生理用品を作成配布した。	経済的困窮世帯の衛生面改善等の支援となった。
8	下仁田町高齢者等 おでかけ支援タクシー 利用券交付事業	コロナ禍において身体状況により町営バス等の利用が難しい移動手段のない高齢者等に町内利用のタクシー券を交付することにより、ワクチン接種の促進とフレイルを防止し、健康及び福祉の増進を図ることを目的とする。	R4.4.1 ～ R5.3.30	3,283	2,650	0	299	自宅から接種会場等までのタクシー利用券申請件数180人 利用枚数：1395枚 助成額：3,239,690円 (消耗品費30,734円) (郵送料12,474円)	高齢者等が各種感染症のワクチン接種やフレイル予防のための外出等にタクシー利用券を交付することにより、日常生活の利便性向上を図るとともに社会参加を促進し、もって福祉の増進に資することができた。
9	新型コロナウイルス 集団発生対策事業	新型コロナウイルス感染症対策として事業所等の従事者等が感染した際、濃厚接触者以外の接触者のPCR検査に検査料の助成を行い、クラスターの発生を防止、事業継続を支援する。	R4.4.1 ～	0	0	0	1,420	未実施	町内事業者から申請がなかったため、支出も発生しなかった。
10	下仁田ぐるめぐりチ ケット事業	道の駅でプレミアム付チケットを販売することにより、住民及び道の駅来訪者を街中に誘導することで、新型コロナウイルスで低迷する飲食店及び特産品販売店の活性化を図る。	R4.4.1 ～ R5.3.30	7,283	2,700	0	28	●1枚500円で800円分使えるプレミアムチケットを販売(3回に分けて販売) 販売枚数：8,455枚(販売額：4,227,500円@500) 店舗利用額：6,698,400円(使用店舗への支払い：8,373枚×@800)	プレミアムチケットを販売することで町内飲食店及び物産販売店への回遊を促し、町内観光と地域経済の活性化を図ることができた。
11	下仁田町ウィズ・ア フターコロナ観光支 援事業	日帰りツアーを行う旅行会社に対して助成を行うことにより、観光誘客を推進し、新型コロナウイルスの影響で低迷する観光事業者を支援する。	R4.4.1 ～ R5.3.30	750	700	4,428	1,732	●ツアー補助金 750,000円 ・平日 バス12台×@50,000=600,000円 ・土日祝日 バス5台×@30,000=150,000円	観光客の減少を旅行会社に助成を行うことにより、誘客ができ観光事業者への支援につながられた。
12	イベント感染予防対 策事業	新型コロナウイルス感染予防対策のため、非接触型体温計、入場ゲート用テント、消毒液用スタンドなどを購入し、町や観光振興団体等で開催するイベント時に利用する。	R4.4.1 ～ R4.5.23	279	260	0	13,823	(購入) ・非接触型体温計1台 69,000円 ・エネルギー(単3×8本)・充電器1個 7,000円 ・手指消毒用足踏式ディスペンサー5台 120,000円 ・消毒液20個 30,000円 ・消毒液(スプレー式)10個 6,000円 ・日よけテント290×290×300 22,000円	イベント開催時に設置利用することで、参加者やスタッフの感染予防を図ることができ、事業を実施することができた。

(単位：千円)

No	事業名	事業概要	事業期間	事業費	財源			コロナ交付金検証	
					交付金 充当額	国県等 特定財源	一般財源	実施状況	効果検証
13	蒔蒔消費拡大推進事業	コロナ禍で物産展等が中止となりPR不足の結果、売上が落ち込んでいる特産品の蒔蒔の消費拡大を促す。	R4. 4. 1 ～ R5. 3. 17	1, 110	1, 000	0	0	●消費拡大と業者支援を目的にエコバッグに蒔蒔製品を詰合わせて「こんにやく福袋」として販売（5店舗） ■こんにやくエコバック（福袋）制作 1, 000部（2種×500部）@385×消費税＝423, 500円 ■こんにやく手帖制作 5, 000部×@125×消費税＝687, 500円	オリジナルエコバックを使った「こんにやく福袋」の販売により、下仁田町を代表する特産品である「こんにやく」の消費拡大及びPRにつながる事ができた。また、こんにやくの歴史や製造方法、飲食店案内をまとめた「こんにやく手帖」作成により、観光客や教育旅行等での来訪者に対し、こんにやくの魅力をPRすることができた。
14	地域情報発信事業	ウィズコロナ・アフターコロナに向け、町の大きな観光素材である下仁田グルメを提供する飲食店の情報を始め、観光施設情報、イベント情報また、道路利用者のための道路情報や災害情報など様々な情報発信を可能とするデジタルサイネージを道の駅しもにた内観光案内所に設置する。非接触型のタッチパネルディスプレイの採用、観光客の街なかへの誘客と利便性の向上を図る。	R4. 4. 1 ～ R4. 9. 12	4, 399	4, 100	0	0	●道の駅観光案内所に非接触型デジタルサイネージを設置及びコンテンツ制作業務（委託） 事業費 4, 398, 790円	非接触型デジタルサイネージを観光案内所に設置することで、町内イベントや観光施設、飲食店、防災情報など衛生的かつわかりやすい案内が可能となった。また、職員の対面での案内の頻度が減り、感染症対策としての効果も大きい。
15	燃料購入費助成事業	新型コロナウイルスによる収入減及び燃料価格高騰の影響を受けている町民の負担及び燃料取扱事業者を支援するため、町民には定額、事業者には使用する燃料価格の一定額を超えた分について購入費を助成する。	R4. 4. 1 ～ R5. 3. 30	38, 420	37, 000	0	0	●住民向け燃料購入券交付 3, 056世帯を配布対象として、一世帯あたり千円券を10枚、1万円分を配布 配布額 30, 560, 000円 換金額 29, 130, 000円 換金率 95. 32% ●事業者向けの燃料購入費助成（45事業所） 令和4年4月から令和5年3月までに購入した燃料の価格高騰分の1/2以内で、年間20万円を上限として助成 助成事業所数：45事業所 助成額：7, 132, 000円	燃料価格高騰の影響を受けている町民及び事業者の負担軽減を図ることができた。
16	観光施設感染防止対策事業	新型コロナウイルス感染症対策としてトイレの洋式化、水道の自動水栓化により、感染リスクを低減させる。	R4. 4. 1 ～ R5. 2. 28	2, 728	2, 700	0	0	●ほたる山公園感染防止対策工事 ・トイレ改修工事 2, 728, 000円 【管理棟トイレ・展望台トイレ・男子トイレ・洋式便器2台】	トイレを洋式化することで蓋を閉じることができ、飛まつ飛び散りを低減することができ、また水道の自動水栓化により、非接触型になり感染リスクを低減させることができた。
17	水道料金支援事業 （6カ月分検針3回分）	新型コロナウイルスの影響を受けている事業者・町民等の負担軽減を図ることを目的に、6カ月分（検針3回分）の水道料金について基本料金及びメータ使用料を全額免除する。	R4. 4. 1 ～ R4. 10. 28	35, 232	33, 500	0	0	令和4年4月から令和4年9月分水道基本料金+メータ使用料料金減免 家庭用9, 367件 27, 581, 540円 その他用1, 101件 7, 210, 580円 システム改修費 440, 000円	新型コロナウイルス感染症の影響により、町水道利用の全ての事業者・町民等に負担軽減を図ることを目的に経営・家計等の支援をすることにつながった。

(単位：千円)

No	事業名	事業概要	事業期間	事業費	財源			コロナ交付金検証	
					交付金 充当額	国県等 特定財源	一般財源	実施状況	効果検証
18	下仁田町応援商品券 交付事業	コロナ禍における原油価格及び物価高騰の影響により活力が低下している町内の地域活性化と生活者支援のため、町内で使用できる商品券を発行する。	R4. 6. 10 ～ R5. 3. 28	82,414	68,591		0	●応援商品券交付 町民1世帯あたり25,000円（小規模店舗専用券15,000円 大型・小規模店舗共通券10,000円） 配布実績：3,221世帯 配布額 80,525,000円 換金額 77,838,000円 換金率 96.87% 町内事業者 161者	商品券の配布により町民の生活支援が図られたうえ、実施した期間に約7,800万円が町内で使用されたことで、町内における消費拡大に繋がり地域活性化が図られ、活力が低下した事業者の支援となった。
19	下仁田町保育施設に 対する物価高騰対策 支援事業	コロナ禍における物価高騰の影響により活力が低下している保育施設支援のため、給食食材費及び光熱費の高騰分を支援する。	R4. 10. 20 ～ R5. 3. 17	1,030	1,030		0	町内保育施設2園に食食材費及び光熱費の高騰分、合わせて103万円（青倉保育園279千円・馬山保育園751千円）の給を支援した。	給食食材費及び光熱費の高騰分を保育施設支援したことにより、以前と変わらぬ保育を継続することができた。
20	下仁田町保育園等利 用者に対する物価高 騰対策支援事業	コロナ禍における物価高騰の影響により活力が低下している子育て世帯のため、給食の主食費分を支援する。	R4. 10. 20 ～ R5. 3. 30	412	412		0	町内園児89人分の給食主食費分を支援した。	給食の主食費分を支援を支援したことにより、町が推進していた保育の無料化が実現でき、子育て世帯の支援となった。
21	下仁田町介護施設に 対する物価高騰対策 支援事業	コロナ禍において電気・ガス料金を含む物価の高騰を受けている、介護サービスを提供する事業者に対して支援金を交付することにより、物価高騰による介護事業所等への影響を軽減するとともに、利用者負担の増加を防ぎ、もって高齢者福祉の向上に資すること。	R4. 10. 20 ～ R5. 3. 30	9,766	9,766		0	町内介護事業所等に対し電気料及びガス代の増加分の80%を支援金として交付 申請実績 6事業者 給付金額 9,766,400円	支援金を、光熱費、食糧費に充てることにより、利用者負担の増額を抑えることができ、施設の維持の支援も行えた。
22	医療機関に対する物 価高騰対策支援事業	コロナ禍においてエネルギー等の物価高騰の影響を受けた町内医療機関に対して支援を行う。	R4. 10. 20 ～ R5. 3. 10	13,989	13,989		0	電気及びガス料金の令和3年度実績と令和4年度実績及び見込額を比較した差額を助成。 歯科医院2件、病院及び医院、診療所4件	電気及びガス料金に対し助成を行うことにより、エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けた医療機関の負担軽減を図ることができた。
23	下仁田町農林業物価 高騰対策支援事業	コロナ禍等により肥料や生産資材などの価格高騰で、大きな影響を受けている農林業者に対して、事業継続に向けた安定生産の下支えをするため、農林業に係る経費の一部を支援する。	R4. 10. 20 ～ R5. 3. 30	11,890	11,890		0	令和3年分の税申告した特定経費（肥料費、飼料費、農具費、農薬衛生費、諸材料費、動力光熱費）の合計金額の30%、一農林業者あたり12万円を上限として支援金を支給 支給実績：申請111件に対して110件へ支給	コロナ禍等による肥料や生産資材の価格高騰で大きな影響を受けた農林業者の経営負担軽減となり、事業継続について支援する事ができた。
合 計				237,427	214,318	4,563	18,277		